腹腔鏡大腸手術を受ける患者様へ

入院から退院までの予定

患者様の状態により予定を変更することがあります。 わからないことがありましたら遠慮なくご相談ください。

様 主治医 担当看護師 月 日 日(手術当日) 月 日 月 日 月 日~ 月 日 手術前日 術前 術後 第2病日 入院日から手術前々日 第1病日 入院後に看護師がお話を 回診にうかがいます 酸素吸入を終了します (お腹の毛を除毛します) |酸素吸入を行います 治療 聞きにうかがいます お臍の処置をします 血圧を測ります 心電図をつけます 心電図を外します 回診で傷の状態を確認します |排便の状態について教えてください|ガーゼ交換をしながら診察をします||回診でガーゼ交換します 処置 手術・治療について医師と面談します 血圧を定期的に測ります 血圧を定期的に測ります 指先に酸素の量をはかる (回数は減ります) センサーがつきます センサーをはずします 鎮痛剤は注射を使います (背中の痛み止めを追加します) (背中の痛み止めを追加します) (背中に痛み止めを注入する管が はいっています) 点滴 点滴を開始します 点滴を持続的に行います 点滴を持続的に行います 点滴を持続的に行います |手術室で抗菌剤の点滴を始めます |抗菌剤の点滴を行います 抗菌剤の点滴を行います 注射 服用している薬があったら、見せてください 許可された薬だけ少量の 内服はありません 夕方から内服薬を開始します 内服薬を継続します 持参薬があれば再開になります 下剤を飲みます 水で服用していただきます 鎮痛剤も飲み薬となります 内服 を除く 体の中の酸素の量を (体の中の酸素の量を 採血検査を行います 採血検査を行います 検査 測る採血検査をします 測る採血検査をします) レントゲン写真をとります レントゲン写真をとります 食事 昼は粥食、夕から栄養剤を提供します □出棟3時間前まで飲水可能です 飲食はできません お水が飲めるようになります 夜から術当日朝まで病院で処方される (うがいは出来ます) (うがいは出来ます) 栄養 補水液を出棟3時間前まで飲水可能です 昼より食事(お粥)が始まります 制限はありません 制限はありません 制限はありません ベッド上ですごします ベッドのリクライニングを 自由に動いていただいて構いません 活動 尿を出す管が入っています 利用してベッドに座ります積極的に歩行訓練を行いましょう 尿の管は抜いて トイレで排泄します 歯磨き・洗面はできます 看護師の介助で体を拭きます 除毛した後で入浴します 入浴はできません 清潔 爪切りもすませて下さい 朝の洗面は介助します (できれば自分でやってみましょう) 看護師の介助で体を拭きます 入浴不可の場合は別途ご相談下さい。 入院生活・手術について説明します 主治医から安静度・食事等 についての説明があります 説明 手術時の持ち物の説明をします 看護師がベッドから起き. 歩くまでの説明をします 手術の説明を聞き、準備をします 目術の説明を聞き、準備をします 経過 ベッド上で安静に過ごします 歩行再開訓練をします 「痛みが強ければ鎮痛剤を使用しま」痛みが強ければ鎮痛剤を使用します 目標

(術後1週間から10日ぐらいが退院の目安です。)

様		主治医	担当看護師		-
月日	月日	月日	月日	月日	月日
第4病日	第5病日	第6病日	第7病日	第8病日	第9~12病日
		回診で傷の状態を確認します	→	退院可能です	退院可能です →
内服薬を継続します 鎮痛剤も飲み薬となります					
			採血検査を行います		
。よく噛んでゆっくりと食事を摂りまし。	k j				
病棟内を歩きます 積極的に歩行訓練を行いましょう					
排液管(ドレーン)が抜けると	排液管(ドレーン)が抜けると		創部の状態に応じて退院日まで入済		段階があります
			退院の手続きを説明します退院後の生活について説明します		
	第4病日 回診で傷の状態を確認します (排液チュープ(ドレーン)を抜きます) 内服薬を継続します 鎮痛剤も飲み薬となります よく噛んでゆっくりと食事を摂りまし。 病棟内を歩きます 積極的に歩行訓練を行いましょう 腰から下はシャワーを 使って頂いて結構です 排液管(ドレーン)が抜けると	第4病日 第5病日 回診で傷の状態を確認します (排液チューブ(ドレーン)を抜きます) 内服薬を継続します 鎮痛剤も飲み薬となります 赤楝内を歩きます 積極的に歩行訓練を行いましょう 腰から下はシャワーを 使って頂いて結構です 排液管(ドレーン)が抜けると 第5病日 回診で傷の状態を確認します (排液チューブ(ドレーン)を抜きます) の診で傷の状態を確認します (排液チューブ(ドレーン)を抜きます) に持たします (排液・エーン)を抜きます) 原から下はシャワーを 使って頂いて結構です 排液管(ドレーン)が抜けると	第4病日 第5病日 第6病日 回診で傷の状態を確認します (排液チューブ (ドレーン)を抜きます) 回診で傷の状態を確認します (排液チューブ (ドレーン)を抜きます) 内服薬を継続します 鎮痛剤も飲み薬となります 積極的に歩行訓練を行いましょう よく噛んでゆつくりと食事を摂りましょう 腰から下はシャワーを 使って頂いて結構です 排液管(ドレーン)が抜けると 排液管(ドレーン)が抜けると 腰から下はシャワーを 使って頂いて結構です 排液管(ドレーン)が抜けると	第4病日 第5病日 第6病日 第7病日 回診で傷の状態を確認します (排液チューブ(ドレーン)を抜きます) (排液チューブ(ドレーン)を抜きます) の加薬を継続します (排稿剤も飲み薬となります (排稿剤も飲み薬となります (排稿剤を歩きます) (排液を作います (排液性のに歩行訓練を行いましょう (関から下はシャワーを 使って頂いて結構です 排液管(ドレーン)が抜けると 全身シャワー浴ができます 環角の状態を確認したうえで入浴でき 場の状態を確認したうえで入浴でき 集液管(ドレーン)が抜けると 全身シャワー浴ができます 現院の手続きを説明します	第4病日 第5病日 第6病日 第7病日 第8病日 第8病日 第8病日 第8病日 選続可能です 退焼可能です 退焼可能です 「排液すューブ(ドレーン)を抜きます 「排液すューブ(ドレーン)を抜きます 「排液すューブ(ドレーン)を抜きます 「排液を確認します 一